

定年退職に あたっての思い



総看護師長 北川 芳 美

七尾病院への就任の挨拶をさせていただいたのが平成23年の春でした。それから3年間、総看護師長として務めさせていただきました。平成26年3月いっばいで定年退職を迎えることになりました。

看護の責任者として病院内の職員のみなさんをはじめ、七尾病院を愛してくださる患者さんやご家族、そして地域のみなさんに「やっぱり七尾病院はいいぞ」と思っていただけますようにと頑張ってきた所存です。が、その通りの結果を残せたかどうかは疑問符(?)です。

でもみなさんには「本当によく、助けていただいたナー」と感謝しております。みなさんの「心強い協力」という後押しがあったからこそ、あの病院への急な坂道も歩いて登ることができたと思います。

七尾病院の看護は患者さんやご家族の思いを大切に、患者さんの心の声を聞き取れるような看護を提供したい、そのために看護職員のみなさんにはあけても暮れても、「心に寄り添う看護」の実践をお願いしてまいりました。おかげさまでその成果は少しずつ感じております。患者さんやご家族のみなさんにも七尾病院での看護をご理解いただいているように思います。でもまだまだ七尾病院の真の実力はこんなものではないと思っております。今後ますます「七尾病院の看護」に磨きをかけていただけることを期待しております。

3年間の中でも、みんなで協力して取り組んだ公開講座やふれあいイベントなどで地域のみなさんに喜んでいただけたことが大変うれしい思い出です。今後とも地域のみなさんから選ばれる「七尾病院」を目指していただけたらと願っております。

定年を控え、机の横の窓から四季折々の景色を眺めながら「来年の今日はこの景色が見られない」と思うとさびしくなりますが、今まで支えてくださったみなさんへの感謝の気持ちを胸に、次の方に繋がりたいと思っております。

今後の七尾病院の繁栄とみなさんのますますのご健勝をお祈りさせていただきます。本当にありがとうございました。

